

## Mastercard 調査「2018 年度世界渡航先ランキング」 ランキングの半数がアジア太平洋の都市、東京は 8 位にランクイン

～観光事業と都市の融合により渡航者の体験向上に貢献～

Mastercard(本社:ニューヨーク州パーチェス、日本地区社長:ナンダン・マー、以下 Mastercard)は本日、「2018 年度世界渡航先ランキング([Global Destination Cities Index](#))」において、東京が 8 位にランクインし、バンコク、ロンドン、およびパリが上位を占めたことを発表しました。また、ランキングの半数がアジア太平洋の都市となっています。

Mastercard の「世界渡航先ランキング」は、過去 10 年にわたり渡航先の都市とその都市に関する分析を行い、今回の結果により渡航先ランキングの上位に入るには、堅固な都市インフラ、ビジネスと娯楽面での魅力、力強い地域文化が重要な要素であることが分かりました。

2018 年の Mastercard「世界渡航先ランキング」における調査対象は、世界 162 都市に拡大しています。渡航者数と渡航先での消費額に基づくデータに加えて 2018 年の成長予測も含み、今回より平均的な滞在日数と 1 日あたりの消費額予測を出しています。

世界渡航先上位 10 都市を訪れる渡航者(1泊以上)の年間成長率(2017年)は、ソウルを除く各都市で上昇し、2018年の予測では、大幅な渡航者数の増加により全般的な成長が見込まれます。

年間約 2,000 万人の渡航者が海外から訪れるバンコクは、今年も 1 位に選出され、2018 年には 9.6%の成長が予測されます。興味深いのは、バンコクを訪れる渡航者が平均で 4.7 泊滞在し、1 日あたりの平均消費額が 173 ドルであった点です。手頃な費用なため渡航者の支出意欲が促され、バンコクはパリ、シンガポール、ソウルよりも旅行しやすい都市として見られる一方、2 位にランクインしたロンドンよりも消費額が多くなっています。

世界渡航先ランキング 2018(渡航者数)上位 10 都市				
	2017 年渡航者数 (単位:百万人)	2018 年成長予測	平均滞在日数	1 日あたりの 平均消費額
<b>バンコク</b>	20.05	9.6%	4.7 泊	\$173
ロンドン	19.83	3.0%	5.8 泊	\$153
パリ	17.44	2.9%	2.5 泊	\$301
ドバイ	15.79	5.5%	3.5 泊	\$537
<b>シンガポール</b>	13.91	4.0%	4.3 泊	\$286
ニューヨーク	13.13	4.1%	8.3 泊	\$147
<b>クアラルンプール</b>	12.58	7.5%	5.5 泊	\$124
東京	11.93	1.6%	6.5 泊	\$154
イスタンブール	10.70	19.7%	5.8 泊	\$108
<b>ソウル</b>	9.54	6.1%	4.2 泊	\$181

また、中国人観光客の渡航先としてアジア太平洋の都市が大変人気で、中でも東南アジアの都市が多く選出されています。

	中国人観光客の割合
バンコク	34.3%
シンガポール	18.4%
クアラルンプール	16.8%
東京	19.8%
ソウル	31.1%
プーケット	28.8%
パタヤ	31.3%
パリ	24.3%

渡航者の消費額に関しては、1位には昨年に続きドバイが選出され、1日あたりの平均消費額は537ドルです。シンガポールやバンコク、東京などアジア太平洋の4つの都市もトップ10に選出されています。

世界渡航先ランキング 2018(消費額)上位 10 都市			
	2017年渡航者(1泊以上)による消費額 (単位:百万米国ドル)	2018年予測	1日あたり平均消費額 (単位:米国ドル)
ドバイ	\$29.70	7.8%	\$537
マッカ	\$18.45	7.4%	\$135
ロンドン	\$17.45	13.7%	\$153
シンガポール	\$17.02	7.4%	\$286
バンコク	\$16.36	13.8%	\$173
ニューヨーク	\$16.10	4.1%	\$147
パリ	\$13.05	16.0%	\$301
パルマ・デ・マヨルカ	\$11.96	16.2%	\$220
東京	\$11.91	7.8%	\$154
プーケット	\$10.46	12.6%	\$239

さらに、日本の都市が世界の渡航先として最も成長していて、中でもレジャーの誘致に力を入れている地域の沖縄が39.2%、京都が27.8%、大阪が23.6%と2009年から2017年の過去8年間の年平均成長率が最も伸びています。

Mastercardのグローバル都市担当エグゼクティブ・バイスプレジデントのミゲル・ガミーノ Jr (Miguel Gamiño Jr)は、次のように述べています。「海外旅行は、多くの都市経済にとって極めて重要で、現地の人と旅行者双方の生活を豊かにし、都市は旅行者の記憶に残る体験を提供すべく革新を続けています。当社は、世界中の都市と緊密に連携し、その都市にある従来の特徴を維持しながら、旅行者をより一層惹きつけ、満足のいくインサイト(見識)や技術を提供していきます。」

ビジネスまたはレジャー目的で都市を訪れる渡航者向けに、Mastercard は、旅行業者、都市設計家、銀行、店舗など、幅広いパートナーと協力し、以下事項に取り組んでいます。

- デジタル化および経済開発における都市の課題の特定と解決：Mastercard は連携を通じて共通の課題を解決する都市、研究機関、民間組織向けのグローバル・プラットフォームである [City Possible](#) を開始。
- 公共交通機関など、主要な都市サービスへのアクセスの簡素化：旅行者と現地住民は、電車やバスに乗るために持ち歩いている非接触型の Mastercard カードを 100 以上の都市で使用することが可能。
- バンコク、ロンドン、パリなどランキングに選出されたその他の都市を含む、42 の [Priceless 都市](#) で独自の食事、娯楽、ショッピング体験を提供。

=====

#### Mastercard「世界渡航先ランキング」について

Mastercard の「世界渡航先ランキング」では、海外からの渡航者数(1泊以上)と渡航先都市での消費額で世界の都市をランク付けし、翌年の渡航者数を予測しています。調査対象の 162 都市における海外からの渡航者数と消費額は、公表値をもとに導き出されています。翌年の予測は、本ランキングが発表される以前の直近の旅行動向見通しを加重平均し、算出しています。本調査と付随するレポートは、Mastercard の取引データに基づき算出されたものではありません。

#### Mastercard について

[Mastercard](#) (NYSE: MA) は、世界の決済業界におけるテクノロジー企業です。世界最速の決済ネットワークを運用し、世界 210 を超える国や地域の消費者、金融機関、加盟店、政府、企業を繋いでいます。多くの人にとってショッピング、トラベル、事業経営、財務管理など日々の商取引がよりシンプルで、安全かつ効率のよいものとなるプロダクト及びソリューションを提供しております。

詳細は <https://www.mastercard.co.jp> をご覧ください。Mastercard のニュースは Twitter で [@MastercardAP](#) (英語) をフォローいただくか、公式ブログ [Beyond the Transaction Blog](#) (英語) をご覧ください。また、Mastercard のニュースルーム [Engagement Bureau](#) (日本語) で [subscribe](#) にご登録いただくと、最新ニュースを E メールアラートにてお知らせいたします。

#### 本件に関するお問い合わせ：

Mastercard 広報代理 ウェーバー・シャンドウィック 西村・岡本・トウ

電話: (03) 5427-7316 / 7352 / 7411

e メール: [MastercardJapanPR@webershandwick.com](mailto:MastercardJapanPR@webershandwick.com)